



発行・カトリック水巻教会

編集・広報委員会

遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3

〒807-0021

TEL 093(201)0680 FAX(201)7354

第288号

## 巡 礼

今年も5月3日～5日まで「津和野への旅」という巡礼に参加しました。廿日市市にあった津和野藩晩所跡から津和野まで90Kmを歩く巡礼です。この巡礼は長い距離を歩くのでかなり過酷ですが、今まで水巻教会からも何人も参加されています。

世界の巡礼では、エルサレム、ローマ、サンチャゴ・デ・コンポステラという古くからの巡礼が一番有名です。エルサレムへの巡礼路が危険になったことから、ヨーロッパの貴族達が派遣したのが十字軍でした。

仏教では山を歩く山伏の修行などいろいろな修行があります。弘法大師の足跡を歩く四国八十八箇所の巡礼路をはじめとして各地に短い巡礼路があります。禅宗でも80Kmを一日で歩く修行があるそうです。歩くことで信仰を深めることができるということは歩いた経験がないと分かりません。

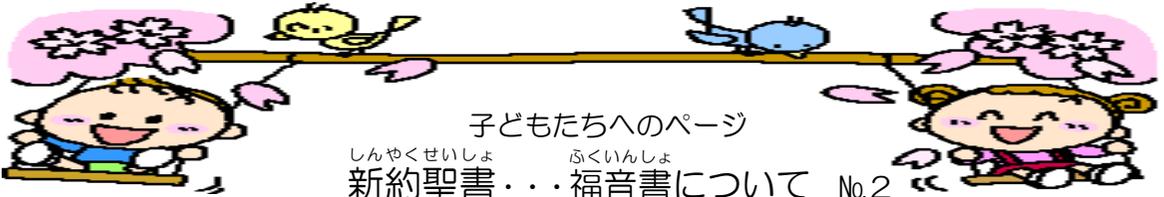
カトリック教会には、二十六聖人が京都から長崎まで連行された道を歩く「長崎への道」という巡礼があるのをご存知でしょうか。私たちの水巻教会もこの巡礼をされている人たちが立ち寄る教会の1つになっています。

毎年津和野への旅には長崎純心聖母会の

シスターが参加しています。この修道会は歩く修練をします。大村から長崎までを歩く徹夜巡礼も毎年していますし、修練期の若いシスターは修練長と一緒に津和野への旅に参加しています。

純心聖母会には大学生の入会志願者がいます。この人たちも毎年参加しますが、今年は初誓願を終えたばかりのシスターが2人参加しました。このシスターたちも大学生の志願者からのシスターでした。このうちの一人は大学生の時に東京から参加していました。その大学生がシスターの制服を着てやってきました。彼女は大学生の時とは全く雰囲気が変わっていて、シスターになるための修練がそうさせたのかと感心するとともに、こうしてシスターが生まれるのだという見本を見せられたことは今年の喜びでした。体が続く限りこの巡礼に参加し、一年に一回でも心を新たにしたいと感じたものです。 (広報・岩本)

子ども達のページ	2面
教会学校のページ	3面
信徒総会報告	4面
典礼委員会議事録	5面
クルシリヨ	6面
聖書への案内	6・7面
黙想の家で祈り語り合あう集い	7面
おしらせ・今月の聖人	8面



## 子どもたちへのページ

## 新約聖書...福音書について No.2

よつ 福音書 はどのような人のため

に書いたものかを見てみましょう。

## \*マタイによる福音書\*

マタイはユダヤ教からキリスト教になった人のために福音書を書きました。

そのため、この福音書はユダヤ人たちが分かりやすいように、旧約聖書の内容と比べるように書いたところが多いのです。

たとえ話も他の福音書よりたくさんあります。だからキリスト教以外の方がマタイの福音書の言葉を使うことがよくあります。

水巻教会の「からしだね」も聖書から名前をつけたものです。弟子たちはイエス様にどうしてたとえ話を使って話をするのかをききますが、あの人たちがよくわかるようにたとえ話をするのだと言われています。(マタイ 13章)

## \*マルコによる福音書\*

この福音書が最初に書かれました。

最初のキリスト教徒はユダヤ人だけでしたが、イエス様は全ての人に神様のことを伝えるように弟子たちに命じましたので、弟子たちは外国にまで出かけて行ってイエス様の教えを伝えました。

そのためユダヤ人以外の信者が増えてきました。このころ、ローマではキリスト教の人たちは苦しめられていました。そのため、イエス様のことを話だけで伝えるのではなく、本にして正しく伝えることが要るようになりました。

ペテロのそばにいて話を聴いていたマルコがイエス様の話をまとめたのがこの福音書です。主にローマにいるユダヤ人以外の信徒達のために書いたものといわれています。

この福音書が一番短いのですが、短くても分かりやすい内容になっています。



# 教会学校のページ



## 初聖体クラス

5月8日

- 初聖体を受けるための勉強を、今日から始めました。
- この日の勉強内容
  - ・5つの祈り
  - ・テキスト 「はじめに」の1, 2, 3, 4, 5

5月22日

- 先週の復習(5つの祈り)をしました。
- この日の勉強内容
  - ・かみさま 6
  - ・かみさまとわたしたち7, 8, 9, 10, 11



## 3～6年

5月8日

5月はマリア様の月なので、マリア様についてのお話を聞きました。

5月22日

平成23年5月1日に前教皇ヨハネ・パウロ2世が福者になったということで、その関連で、日本人の福者ペトロ岐部についてのお話を聞きました。

この日は運動会等の関係で、参加人数がとても少なかったです。

※ 初聖体クラス以外は、北村神学生が指導してくれるようになりました。



## 2011年度 水巻教会信徒総会報告

5月8日

1. はじめの祈り(主の祈り) 議事進行：柴田香菜氏
2. 主任司祭挨拶(竹森神父)  
昨年度中の協力に感謝とお礼。今年度の協力を依頼。司教の教区運営方針に沿って、「ともに学ぶ」機会を生かし、積極的に参加し、充実した一年とすることを願いたい。
3. 2010年度行事報告(岡部成敏氏)
4. 2010年度会計報告(アブドゥハン恭子氏)
5. 質疑応答
  - 1) 街頭募金は教会内というよりチラシの持ち帰り配布(三谷氏)
  - 2) 駐車場基金から駐車場献金への名称変更の経緯説明を求める(吉岡氏)  
金額は充分なのか(田中氏)  
回答(馬込次郎氏)駐車場利用者のみでなく全信徒から協力を得るために変更した。  
町からの働きかけがある時点で対応できるように用意している。
  - 3) 葬儀の棺覆いを黒から復活の象徴である“白”にしてほしい(松尾隆氏)  
回答(神父)典礼委員会で検討する。
  - 4) 駐車場献金は当初から一部の利用者でなく、全員の協力を目指していた(川島氏)
  - 5) 宣教広報費の内容は「こころのともび」購入費だけなのか。  
「黙想の家の集い」に冠婚葬祭の会から支出しているが、宣教費あるいは、委員会活動費として教会会計から出すべきではないか。(橋本氏)  
回答(神父)年の黙想や全信徒対象の行事ではない場合は、活動団体が費用を半額負担することになっている。典礼委員会の企画なので、典礼委員会の中の冠婚葬祭の会から一部負担金を支出することを委員会です承している。  
(アブドゥハン氏)冠婚葬祭会から司式神父謝礼・シスターの交通費(計1万円)  
教会会計から部屋代5千円と未信者入館料300円(一人)を支出
  - 6) 駐車場献金や神学校献金は維持費とともにすべての信徒が負担すべきなのか、  
親子別で分担している。(鬼塚氏)  
回答(馬込氏)協力できる範囲でお願いしている。
6. 2011年度小教区委員ならびに小グループ代表者紹介  
意見(三谷氏)1月2月の頃選挙によって小教区委員長を選任する話が信徒を2分することを恐れ、流れたが2年後もそうなることはさけてもらいたい。
7. 訂正 シーバの会代表は森田鈴子氏
8. 神父より 新委員には、教会活動に十分時間を取れない人もいる。ねぎらいこそすれ、不平や不満を役員にではなく、要望として神父に言ってほしい。
9. おわりの祈り(主の祈り、聖母への祈り、栄唱) 以上

## 2011年度 第2回 典礼委員会議事録

開催日時：2011年5月18日(水)19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、田中拓、俵、浜口、松尾定五、安永、山本、矢田

## 《報告事項》

- 1 第4回「黙想の家で祈り語りあう集い」5月15日(日)参加者 10名  
次回は10月2日(日)の予定。
- 2 4月24日より「信仰宣言」を「使徒信条」に。
- 3 5月 聖母の月 ミサ前のロザリオ 9時10分より1連

## 《審議事項》

- 1 聖週間と徹夜祭について反省事項
  - ・ソテツの枝 受難(枝)の主日ミサ後、各自枝を持ち帰ること。  
残った枝の収納(前方右の小部屋棚の上)に協力する
  - ・ローソク 2回目の「キリストの光」を歌った後に点火する旨、説明する。
  - ・共同祈願 教会学校の共同祈願がなかった。
- 2 6月、7月の聖歌予定表 了承。
- 3 信徒総会での提案：葬儀の棺覆い(カバー)について  
「白」が奨励されている。葬儀社あるいは典礼関係の店に問い合わせる。
- 4 宗 友和氏 司会復帰の可能性あり。後日調整。
- 5 北九州信徒協典礼部会への出席 6月12日(日)午後2時半 小倉教会  
三谷氏、浜口氏、矢田
- 6 司会者よりミサ後にアナウンス。  
「聖書と典礼」パンフレットは、各自持ち帰って祈りなどに活用する。
- 7 前回議事録の、冠婚葬祭の会から黙想の家での集い謝礼(2回分)援助に関して文言を訂正。  
東日本大震災への義援品輸送料援助について、事前に委員会で話し合うこと。
- 8 「十字架の道行」来期までに100部増刷について 見本を作成後印刷
- 9 6月の委員会は、北九信徒協典礼部会で示される平和の集い(8月7日)の内容に対応するため休会し、7月の委員会を第1水曜日に変更。

\*前回議事録『冠婚葬祭の会会計から、黙想の家の集い2回分の留保を依頼』を冠婚葬祭の会より謝礼の援助協力をして頂いている、と訂正します。

次回予定 2011年 7月6日(第1水曜日) 信徒会館

## クルシリヨは人生に1度のチャンス

吉永 昌子(赤間地区)

近年、GWには外出しないと決めていましたが、今年は5月に企画している行事を成功させたかったです。家事からの解放、祈りの集中、霊性を高める必要を感じていました。教区報に良き知らせがあるのでは、と探していると「クルシリヨ」の文字が目にとまりました。水巻教会の竹森神父が講師なので同教会員として心強く思いました。場所は馴染みの深い「福岡黙想の家」であり、参加費も教会からの援助もあって、随分安くなり、感謝しています。

クルシリヨを体験して、今の私はやる気であふれている状態です。スタッフのきめ細かい運営にはまってしまいました。小さなグループで仲間と学び、成し遂げていく作業に指導者の話が軸になります。キリスト者が神に任せて生きる(信仰の真髄)自由を与えられている私達は、気付き力を養い、妬み・嫉みと感謝・愛の2本の別れ道への選別力を磨き、信心・研究・活動へと飛躍します。祈ること、笑顔も立派な宣教活動です。死の床に居ても思いやる祈りが出来る信者として終わりを迎えたいと思います。霊的花束を各教会・修道会より沢山頂きました。感激に涙する者も多く、沢山の方に祈られている心強さも体験できました。竹森神父が独りで祈られている姿を度々拝見して、とても印象に残りました。

3日目は宮原司教の御ミサでした。修了者の方々も参列されて、教区が力を入れているクルシリヨであることが徐々に解った次第です。

水巻教会の皆様と共に霊的花束を作ることができるでしょうか、来年度参加される方へ贈りたいです。また、今の活動を継続し、新たにやりたいことも主任司祭に相談せねばと思っています。このやる気に消費期限はあるのでしょうか？



### 聖書への案内 No.19 箴言

生きる知恵を与える格言集です。

最初に「イスラエルの王、ダビデの子、ソロモンの箴言」と書かれているように、ソロモンの作という形をとっていますが、処世の知恵を結集した格言集です。古い時代から新しい時代までのイスラエルの格言が書かれていて、現代にも通じる箇所もたくさんあります。一部を紹介します。

15章 12節 不遜な者は懲らしめられることを嫌い  
知恵ある人のもとに行こうとしない。

13節 心に喜びを抱けば顔は明るくなり

心に痛みがあれば霊は沈みこむ。

(7ページに続く)



## 第4回 黙想の家で祈り語り合う集い

5月15日(日)は、前週の五月雨や黄砂がうそのように晴れ上がり、さわやかな風が新緑を吹き抜ける好天でした。行事の重なりもあってこの日の参加は10名でした。テーマは「迷いと選択」話題としては、組みし易いと思っていました。来住神父様は、人間関係や生活の場面での選択と迷いを想定して話されました。

人が迷うとき、決めるのは神ではない。誰かと相談しながらあるいは議論に疲れてフトした拍子に物事を決めてしまっはまずい。祈り・相談・識別の努力をして、結論は自分で出す。自分で決めたことであれば責任を持てる。

何らかの状況を改善したい時、全部を変えよう(捨てる)とすれば、波風が立ち、誰かの気を悪くさせ、自分が恨まれることもある。一つだけを変えることで事態が動くかもしれない。「このままではいけない、とにかく何かをしなければ」は、畏かもしれない。現状維持で持ちこたえることも、有力な選択肢の一つである。

識別をするとき、自分の行動の結果を考える必要がある。筋を通すという考え方があるが、相性で判断しているのではないか。声が大きくて押しの強い人の意見に流されていないか。キリスト者は、「神の国」を視野において判断する必要がある。カリスマ刷新運動を例にあげれば、変わった(個性的な)人が場を得て、その人なりの善を行っているのであれば認めることができる。うらみ心を持たない、いつも謙遜さを忘れないこと。

分かち合いは、2つのグループに分かれて、人生で迷った選択を思い出し、どのような経過で結論に達したかを話し合いました。

次回の集いは10月2日(日)午後2時からです。テーマは後日お知らせします。

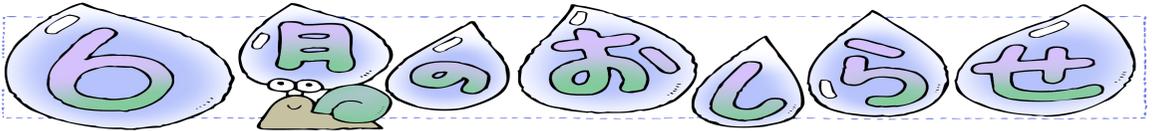
報告 矢田



(6ページより続き)

- 15節 貧しい人の一生は災いが多いが  
心が朗らかなら、常に宴会にひとしい。
- 16節 財宝を多く持って恐怖のうちにあるよりは  
乏しくても主を畏れる方がよい。
- 22節 相談しなければどんな計画も挫折する  
参議が多ければ実現する。

この時代でも、何かするには多くの人の知恵を結集し話し合うことが大切だったのでね。神の民の中にも民主主義があったのです。



### ★特別献金★

四旬節 愛の献金	86,800円
聖地エルサレム献金	28,300円
東日本大震災募金	294,087円
カリタスジャパンへ	147,087円
カトリック仙台教区へ	140,000円

ご協力、ありがとうございました。

### ★納骨堂利用者集会★

納骨堂利用者集会をします。納骨堂を利用されている方は、参加をお願いします。

日 時：6月12日 ミサ後  
場 所：聖堂



【帰天】安らかに

5月15日

平野 アヤ子さん(海老津地区)

【洗礼式】おめでとう！

◇川崎 勝子さん(海老津地区)

◇尾崎 智美さん(高須・青葉地区)

4月23日(土)ご復活前夜祭に洗礼の秘跡を受けられました。

二人のために、お祈りをお願いします。



今月の聖人 21日 聖アロイジオ・ゴンザガ修道士 (1568年-1591年)

アロイジオは、イタリアのカスチリオネのゴンザガ侯爵の長男として生まれました。父の望みで軍人になるはずだったが、彼は当時の社会の不道徳を嫌い、修道者になろうと決心していました。父は、それに大反対をし、9歳のアロイジオをフィレンツェのメディチ家に預け、その後マドリードのフィリポ2世に3年間仕えさせました。しかし、修道者になるというアロイジオの固い決心は変わらず、ついに父も願いを聞き入れ、1585年に、イエズス会に入会することを許しました。



アロイジオは、自分自身に厳しく、信仰を深めることに努め、目上が派遣するどんな所でも忠実に働きました。1591年、ローマにペストが流行したとき、献身的に病人の看護にあたりましたが、自らもペストに感染し、24歳の若さで亡くなりました。彼は、青少年の守護の聖人といわれています。